

Auge Mail Watcher for Lotus Notes 受信ログフォーマット&サイズ仕様

Seq	ログ取得項目	ログ出力例	データ長	内容	バイト長 最小	バイト長 最大	補足
1	ログ発生日時	2011-09-01T16:25:35	固定	yyyy-MM-ddThh:mm:ss	19	19	ログが発生した時点のOS時刻です。精度はOS依存
2	サーバー名	CN=Server/OU=svr/O=ABC	可変	最大256+32+1	0	256	Mail Watcherが稼働しているDominoサーバーの完全名です。
3	ログ発生プロセス名	nrouter	固定	nrouter	4	5	ルータータスクのプロセス名 (nRouter) が出力されます
4	Extention Manager FLAG番号	03200040	固定	16進数値	8	8	DOMINOのログ取得機構から通知されるAPIコールのサブFLAG番号。 配信されたメッセージを各ユーザーのメールデータベースに書き込んだ際の付与番号です。 このFLAG番号は、Dominoの内部仕様です。
5	メッセージ更新ユーザー名	CN=Server/OU=svr/O=ABC	可変	最大256+32+1	0	289	各ユーザーのメールデータベースに配信メッセージを書き込んだユーザー名です。 通常、自Dominoサーバー名になります。
6	ユーザーメールデータベース名	mailKisuzuki.nsf	可変	最大256バイト	0	256	メッセージが配信された、ユーザーのメールデータベースファイルパス。 (メールインデータベースにメールが配信された場合は、そのデータベースファイルパスになります)
7	受信ユーザー名	鈴木一郎	可変	最大256バイト	0	256	Mail Watcher管理データベースであらかじめ設定された、受信ユーザー名がセットされます。 この受信ユーザー名は、5列(ユーザーメールデータベース名)に紐づけられた文字列です。 もし、管理データベースで設定されていなかったり、または、フォルダ単位で受信ログ監視を行っている場合は、 メールデータベースのタイトルが出力されます
8	メッセージ ドキュメントUNID	00D51E36B32675BE4925739F002668D5	固定	32桁の16進数	19	19	ユーザーメールデータベースに書き込まれた、送信メッセージ(Notes文書)を特定するDocumentUNID。 Notes文書のプロパティから確認可能。
9	メッセージポスト日時	2011-09-01T16:24:15	可変	yyyy-MM-ddThh:mm:ss	7	8	受信メッセージがポストされた日時です。
10	FROMフィールド値	CN=Ichiro Suzuki/O=ABC	可変	最大256バイト	0	256	受信メッセージ内のFROMフィールドの値です
11	SENDTOフィールド値	CN=Jiro Sato/O=ABC;CN=Saburo Tanaka/O=ABC	可変	ユーザー名(複数)	0	50000	受信メッセージ内のSENDTOフィールドの値です。 複数の宛先がある場合は、;(セミコロン)でセパレートされます
12	CCフィールド値	CN=Shiro Ogawa/O=ABC	可変	ユーザー名(複数)	0	50000	受信メッセージ内のCCフィールドの値です。 複数の宛先がある場合は、;(セミコロン)でセパレートされます
13	BCCフィールド値	CN=Goro Takahashi/O=ABC	可変	ユーザー名	0	50000	受信メッセージ内のBCCフィールドの値です。 このメッセージを受信したユーザーがBCCの宛先アドレスであった場合のみ出力されます。 それ以外の場合は、BCCフィールドは隠されるため、出力されません。
14	SUBJECTフィールド値	製品資料の確認依頼	可変	文字列	0	50000	受信メッセージ内のSUBJECTフィールドの値です
15	添付ファイル情報	製品情報(240691BYTE)	可変		0	50000	受信メッセージに添付された添付ファイル名と、そのバイナリサイズのベア値です。 複数添付されている場合は、;(セミコロン)でセパレートされます
	エンクロージャ		固定	ダブルクォーテーション	24	24	※タイトルフィールド値等にダブルクォーテーションが含まれる場合は、 エスケープ(ダブルクォーテーションが2重化される)されます。
	セパレータ	.(カンマ)	固定	カンマ	11	11	
	改行コード	CR+LF	固定	Windows版 CR+LF UNIX版 LF(環境に準ずる)	2	2	各ログレコードの最後に付加される
	ログサイズ				94	251409	単位:byte

Auge Mail Watcher for Lotus Notes 受信ログファイル名称仕様

SEQ	ファイル名称	内容
1	serverCname_receive_yyyy-MM-dd.log	1次ログ
2	serverCname_receive_yyyy-MM-dd.2.log	2次ログ
	serverCnameは、サーバーの共通名(CN=xxxのxxxの部分です)	
	yyyyは4桁で表される西暦です。(ex.2008)	
	MMは2桁で表される月表記です(ex.01、11、)	
	ddは、2桁で表される日表記です(ex.01.25)	